

2018 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	肖 越
研究テーマ	初期浄土経典成立史の基礎研究—人間学としての浄土教
研究概要	〈無量寿経〉諸本の詳細に比較を吟味した上で、更にほかの浄土類の経典群を取り込んで文献学の視点から経典の成立の歴史的な背景を究明する。特に、『大阿弥陀経』と『平等覚経』に二つの二十四願文の成立を総合的に究明する。引き続き『大阿弥陀経』の前半の英語訳注を行う。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本年度は、『無量清浄平等覚経』（以下『平等覚経』）における 24 願の英語訳注、及びそれに深い関連性を持つ法蔵菩薩説話段（歎仏偈）を含む英語訳注を完成した。どちらも学界初のもので、浄土経典の研究に重要な成果だと考えている。加えて、昨年度の『大阿弥陀経』の英語訳注の成果に基づき、『大阿弥陀経』における 24 願の成立についてまとめた。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①9月1日東洋大学で開催された第69回日本印度学仏教学会で “On the Vows of the Earliest Version of the Larger <i>Sukhāvativyūha</i> sūtra” という題名で英語で発表した。同題名の論文は、『印度學佛教學研究』67 (3)、2019年3月、査読有り。</p> <p>② An Annotated English Translation of the Dharmākara Narrative of the <i>Wuliangqingjing pingdengjue jing</i>. <i>Journal of World Buddhist Cultures</i>. 2:163-186 (龍谷大学世界仏教文化研究センター). 2019年3月、推薦有り、査読有り。</p> <p>③ An Annotated English Translation of the Twenty-four Vows in the <i>Wuliangqingjing pingdengjue jing</i>. <i>International Journal of Buddhist Thought & Culture</i> 28(2): 177-203. Academy of Buddhist Studies, Dongguk University, Korea, 2018. 査読有り。</p>
3. 競争的資金への応募と採択	<p>日本仏教学術振興会のSAT大蔵経データベースに関連する研究助成採択。</p>
4. 今後の課題	<p>①『大阿弥陀経』と『平等覚経』における二つの24願の成立を巡る文献学的な研究論文を纏める。</p> <p>②引き続き「初期無量寿経」を中心に、人間学としての浄土経典の成立を巡って研究を行う。</p> <p>③引き続き『大阿弥陀経』の英語訳注を作業する。</p>